



新潟市立潟東中学校 学校だより

令和8年2月17日（火） 第49号

希 望 橋

教育目標 豊かな心を持ち たくましく伸びる生徒

電話 0256-86-3007

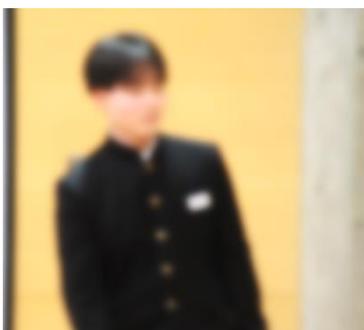
想いをつなぐ

～第2回生徒総会・引継会・三送会を開催～

2月12日（木）の6時間目、ランチルームにて「第2回生徒総会・引継会・三送会」が開催されました。この日は今年度の活動を総括するとともに、3年生から1・2年生へと「学校の伝統」というバトンを託す、大切な節目の一日となりました。〇〇生徒会長をはじめ、学校の顔として尽力してきた3年生本部役員の皆さん、本当にお疲れ様でした。

今回の大きな特徴は、形式にとらわれず「想い」を届けることに主眼を置いた引継会の構成です。例年行われる事務的な報告は資料確認のみとする工夫で時間を捻出し、企画されたのが各部長による「ワンワード・リレー」でした。ステージ前に並んだ3年生の部長たちは、部活動生活で得た教訓や感謝のメッセージを、自分たちの言葉で次々と繋いでいきました。

〇〇新生徒会長からは「大会の結果以上に、私たちが得た目に見えない財産こそが伝統です」という力強い言葉が贈られました。勝利の記録だけでなく、日々の努力や仲間との絆こそが、校風を形作る真の価値であることを再確認させてくれました。

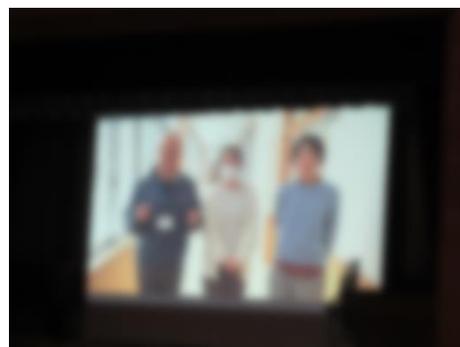
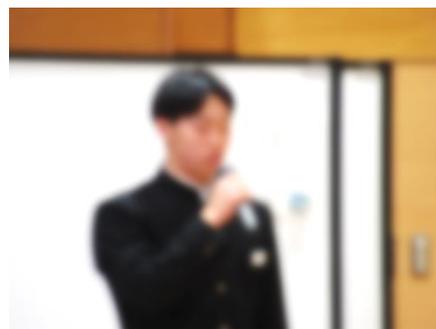


感謝と笑顔が溢れた三送会

続く「三送会」では、〇〇新副会長を中心に企画された「思い出のスライド」が上映されました。行事で一喜一憂した場面や、日常の何気ない風景が次々とスクリーンに映し出されると、会場のあちこちから当時を懐かしむ温かな声が上がりました。

さらに、今年は先生方からのビデオメッセージというサプライズもあり、会場は大きな歓声と笑顔に包まれました。先生方からの温かい言葉に、3年生も胸を熱くした様子でした。

会の締めくくりには、〇〇新会長、〇〇新副会長がマイクの前に立ち、3年生がこれまで心血を注いで築き上げてきた伝統を、自分たちが責任を持って正しく受け継いでいくという、固い決意に満ちた「閉会の言葉」を述べ、感動の中で一日を締めくくりました。



【編集後記】

3年生がこの学び舎で、日々積み重ねてきた努力と情熱。その結晶は今、バトンとなってしっかりと後輩たちの手へと託されました。

引継会での凛とした姿や、三送会のスクリーンを見つめる3年生の穏やかな眼差しを見て、彼らがこの3年間でどれほど多くの壁を乗り越え、大きく成長を遂げたのかを改めて実感させられた午後となりました。3年生の皆さんが卒業の階段を一步ずつ登るにつれ、校内には少しずつ寂しさが漂い始めていますが、皆さんが残してくれた「あきらめない心」や「仲間を想う優しさ」は、これからもこの学校の伝統として脈々と息づいていくことでしょう。

卒業まで、残された時間はあとわずかです。1・2年生は先輩方の背中から学んだ「誇り」を胸に、そして3年生は自分たちが築き上げた「自信」を糧に。全校生徒が一丸となって、さらに輝かしい学校の歴史を創り上げていくことを期待しています。